

き放ち、父親の急病とはそは大な詐り、着衣を渡さばよし、否と云へば此の劍の鞘にする」と嚇し付けられたので、醫者は、さ一大變と思つてすぐ眞裸体になり、命から一目前散に吾家へ戻つてきて、いきなり前に祭つてあつた大黒天を庭に投げ出して、よくも己を眞裸にしたな、さ一覺て居れと、金鎚で散々なぐりつけました、すると大黒天は大に叫んで『コレ醫者待て、其方は全体何んと心得る己は湯屋の大黒様だからして、人を裸にするのが、商賣でないか』と申しましたとさ。

●第八號懸賞問答當撰

問 題

- (一) 起きて居るものを寝(猫)とはこれ如何
- (二) 虚言をつくことを法螺を吹くとはこれ如何

- (一) 一足の獸をう、さぎ(兎)とはこれ如何
- (二) 一足の獸をかもしか(羚羊)といふが如し
- (三) 一足の水氣多きをみづなし(水梨)といふが如し
- (四) 有るものを食ひながら無し(梨)を食ふといふが如し。

●一 等 姫路市五郎右衛門邸 大竹さく子

- (一) 一側(い)に居るものを死々(獅子)といふが如し
- (二) 一裕氣(りんき)することをやきもちを焼くといふが如し
- (三) 一三疋(い)の虫を鎌錐(蛭螂)といふが如し
- (四) 有るものを食ひながら無し(梨)を食ふといふが如し。

●二 等 埼玉縣川越女子學院 山田 穰

- (一) 一側(そば)に居てもいぬ(犬)といふが如し
- (二) 一詔諛者(あつかひの)をたいこもち(幫間)といふが如し
- (三) 一疋(い)の獸をかもしか(羚羊)といふが如し
- (四) 水氣多きをみづなし(水梨)といふが如し

●三 等 神田區維子町三十一番地宮本方 林 かね子

- (一) 一來(く)るものを去る(猿)といふが如し

- (二) 虎の鳴くのを嘯くといふが如し
- (三) 一人の愚者を馬鹿といふが如し
- (四) 床に懸けながらかけず(懸圖)といふが如し

● 右 賞 品

- 一 等 (武島又次郎 作曲 東京唱歌 全二冊)
- 二 等 (中野 虎三 作曲 瓜生岩子 全一冊)
- 三 等 (櫻井 信彰 作曲 赤穂義士 全一冊)
- 其他の答で面白かつたのを舉げて見ると
- (一) 木に止まつて居るに飛び(鳶)居るといふが如し 松本たね子
- (一) 卸店でも小賣(氷)店といふが如し 谷 米子
- (一) 寝て居てもねずみ(鼠)といふが如し 田村とみ子

青柳 翠

- (四) 出る話をでんわ(電話)といふが如し

堀田 丈夫

- (四) 手に持ちて遣るを踏み(文)遣るといふが如し

松本たね子

● 第九號懸賞問答當撰

問 題

- (一) 山が多いのに山なし(梨)縣とはこれ如何
- (二) 外にありてもうちわ(團扇)とはこれ如何
- (三) 田の東にあつても田にし(田螺)とはこれ如何
- (四) さゝない魚をさしみとはこれ如何

● 一 等

東京市京橋區鈴木町 四帶地 興津らく子

- (一) 陸續きであつてもしま(志摩)の國といふが如し
- (二) 外で相談してもうち合せといふが如し
- (三) 何分へ花見に行つてもみなみに行くといふが如し

(四) 雨天の日に焼いてもてりやきといふが如し

● 二等 福井縣 大野郡 平泉寺 前田省一
村大波

(一) 阪が少くてもおは阪市といふが如し

(二) 内に居てもたが商(足袋商)といふが如し

(三) 腐つた物が北に在りてもきたないといふが如し

(四) 眞直に据えてもさか樽(酒樽)といふが如し

● 右 賞 品

● 一 等 〔中村 秋香 作曲 菅公の歌 全一冊〕
〔小山 作之助 作曲 全一冊〕

● 二 等 〔中野 虎三 作曲 瓜生若子 全一冊〕
〔東 くめ子 作曲 全一冊〕

● やまこの翁申す

第八號のには澤山な應募者があつたのに、第九號のはまことに少くて、三等のに價するものが残念ながら見當りませんでしたから、仕方がない二等までにしましたから、無理いはないで承知して下さい。夫から第八號の賞品は、ずつと早く出す筈

じやつたのが、翁が八月の末から九月へかけて、行脚に出かけたもんじやから、賞品の發送をば留主居の若者に頼んで置きましたじや、所が歸つてから、送つたかと聞くと、忙しくつて忘れたといふ、いやはや若い者は頼と之じやで困る。そこで翁が此年になつて、諸嬢諸君へ御託をせねばあらぬ。とかく命長ければ耻多しじやて。

● 六を二分して我國名一つ。 答 肥後(二五)

解答者 香川縣 高畑 綾子

● この次の考物

出題者 福井縣 前田省一 君

私は小學生徒の身分に候ふ故、賞品などはさても差上ぐる事は出来申さず候へども、此頃考へ出したる問題提出いたし候ふ。御登載の上答案募集の手續なし下され候はば、望外の仕合に御座候。 (1) 一つの役所をしゃくしよー(市役所)とはこれ如